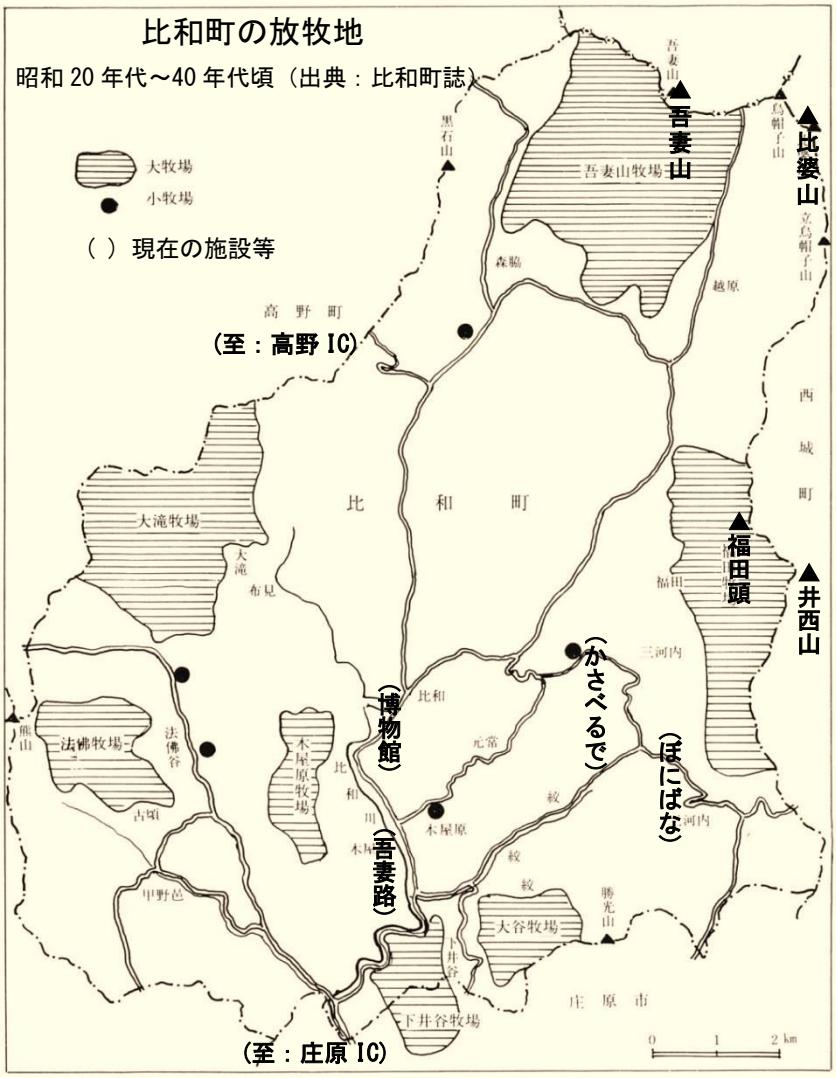
ブナ林の恵み・和牛放牧の山と神話の山

吾妻山や福田頭などでは、たたら製鉄用の燃料材（木炭）伐採跡を利用し、和牛放牧が行われていました。

吾妻山などのブナ林のほとんどが江戸時代、たたら製鉄用の木炭製造のため伐採され、猿政山と大万木山のブナ林は、昭和 35 年頃、パルプの原料として伐採され、ブナ林のほとんどが失われているのに、比婆山の広い範囲にみごとなブナ林が残ったのは、比婆山は古事記にいうイザナミノミコトの御陵として信仰の対象であるところからまわりのブナ林を守ってきたからです。

比婆山のブナ林の面積は 170 ヘクタールで、西日本有数のブナ林であるところから、昭和 35 年（1960 年）7 月 15 日に国の天然記念物に指定。

（作成協力：庄原市立比和自然科学博物館）



「かさべるで」から見る福田頭（毛無山）と井西山

「かさべるで」の焼肉コーナー（要予約）

庄原市立比和自然科学博物館の展示

グリーンポート吾妻路の
あづま蔓牛像

牛に餌をやるための草刈りで保全されていた
ぼにばな（ヒゴタイ）

庄原市自然とやすらぎの里宿泊研修施設

「かさべるで」　電話 0824（85）２２３０

〒727-0301　広島県庄原市比和町比和 165-1

※ 庄原 IC・高野 IC から車で約 30 分
※ 連続して 3 泊以上は割引があります